

《 人権を尊重した主な取組や成果 》

北洋銀行では、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上、持続的経営の実現に努めるため、「サステナビリティ方針」を策定しています。

この方針のもと、様々なステークホルダーが抱える社会的課題の解決に取り組むことを明記した「ESG取組方針」や、女性・シニア・外国人・障がい者を含む全ての人が能力を最大限発揮できる多様な働き方の提供などに取り組むことを明記した「SDGsに係る重点取組テーマ」を掲げています。

特に力を入れている取組

女性活躍や子どもの健全育成に配慮した取組

- 小学校6年生までの子を養育する職員を対象とした「育児短時間勤務制度」「時間外労働の免除」や、配偶者の転勤や親の介護先への希望異動が可能な「勤務地変更制度」など、男女ともに働きやすい体制を整備。

女性

子ども

TSUBASA ダイバーシティ&インクルージョン宣言

- 当行を含め10行態勢となる国内最大規模の地銀広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」としてダイバーシティ&インクルージョンへの取組をより一層強化すべく共同で制定。各行役職員を対象とした共同研修等を実施。

女性

次世代の育成支援

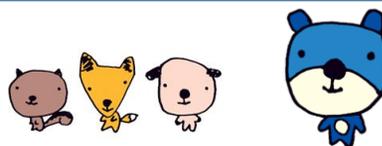
- 北海道の未来を担う子どもたちへの金融教育を、地域に根差した金融機関として重要な取組みと位置づけ、従来の金融教育をさらに充実させるべく「ほくよう金融教室」を展開中
- 北海道母子寡婦福祉連合会と札幌市母子寡婦福祉連合会が行う奨学金事業を支援。

子ども

障がい者スポーツへの支援「SDGs(パラスポーツ応援)私募債」

- お客さまに私募債を発行いただくことで、当行が「ほく一障がい者スポーツ基金」を通じて道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等に寄付金を贈呈。

障がいのある人



関連した取組

■人権に関する他の制度などの認定状況

- ・ プラチナくるみん認定（厚生労働省、2018年12月）
- ・ えるぼし認定3段階目（厚生労働省、2016年4月）
- ・ 札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認定ステップ3先存取組企業（札幌市、2018年9月）
- ・ 女性が輝く先進企業表彰受賞（内閣府、2016年4月）

■SDGsの取組と目指すゴール

企業活動を通じて、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組み、国際連合が提唱するSDGsの達成に貢献します。



会社概要

当行では「お客様本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日(あす)をきりひらく」を経営理念とし、一つひとつのニーズ・課題に真摯に向き合い、それに答えるサービスの提供を通じてお客様・地域から最も信頼されるパートナーを目指しています。

企業ホームページURL

<https://www.hokuyobank.co.jp>

企業情報

| | |
|-------|-------------|
| 設立年 | 1917年(大正6年) |
| 資本金 | 1,211億円 |
| 代表者 | 頭取 安田 光春 |
| 従業員数 | 2,542人 |
| 本社所在地 | 札幌市 |